

第46号
 発行日：平成22年10月20日
 発行所：
 東京青山同窓会事務局
 〒107-0062
 港区南青山3-18-4-304
 (有)ジェイ・クラブ内
 TEL. 03-3423-3591
 発行者 池 一

東京会報

東京青山同窓会

—東京青山同窓会年間維持費—
 1口 / 1,000円 2口以上(年間)
 会計幹事：佐藤 茂 (77回)
 振込先：三菱東京 UFJ 銀行・
 江戸川橋支店
 普 1170247 東京青山同窓会
 郵便振込口座 00150-9-4074

平成22年 東京青山同窓会 新人歓迎会・講演会 報告

平成22年6月18日(金) 於：ANAインターコンチネンタルホテル東京 松田裕子 71回

118回生43名の若人を迎え、先輩諸氏117名が集い、新人歓迎会・講演会が賑やかに開催された。

第一部、司会は新潟日報社に就職の内定が決定したという福澤ゆかりさん(115回)。

東京青山同窓会・猪口孝会長(70回)のご挨拶でスタート。「新潟の人はタンポポのように、めげない、明るく生きている人」とタンポポな生き方を提案された。「雪が降っても、踏みつけられても、種を飛ばし屋根の上でも必ず花を咲かせる。飛躍の潜在力を秘めたタンポポ。東京はジャングル。社会生活はやたら面倒くさい。タンポポな生き方で夢に向かって行こう!」とエールを贈られた。

来賓の青山同窓会・長谷川義明会長(61回)は、118回生の進学傾向は難関大学、理系が23%を占めて、県内の進学率をリードしたと紹介。創立

120周年記念事業に向けて一層力を合わせて集いたいと語られた。

校内幹事、横堀真弓先生(91回)は、去る6月12日(土)に行われた伝統の青陵祭について、これまで地震、雨、雷等々と惨々だったが、今年は晴天に恵まれて10連合のグループが健闘し、無事終了とのこと。よかった、よかった!

記念講演「38年のパイロット人生で体感したこと」講師の斎藤俊正氏(72回)はJALのベテランパイロット。国内国際線総飛行時間18,085時間という。無事故無欠勤の38年の体験を通して、新人たちに、これから取り組もうとすることは、まず好きなことを、好きになれることを選んで…と力説された。

そして新人コール。学年幹事・星野紹英氏(85回)が呼び上げる名前に新人たちが元気よく挙手。佐久間海土君(118回)が、新潟高校の想

い出を誇りに、故郷を大いに語り合っ
ていきたいと返礼。

第二部は懇親会。司会是小橋川嘉樹氏(107回)。本日参加者の中で最高齢の富所強哉大先輩(46回)がご発声。「青春とは意気であり、力であり、かえりみる微笑みである」と含蓄ある乾杯の音頭を取られた。しばし歓談のとき。

さあ、校歌斉唱だ。学年幹事・島津孝氏(84回)が提案。旧制校歌の“いざわが友よもろともに、真白き砂の丘の上～”を旧歌詞“白砂塵なき～”と歌い、新制校歌と丈夫は鈴木啓君(118回)の指揮で熱唱。老いも若きも青春真っ只中?! 感慨無量。何回やっても同窓会の山場はここだ。

“秋にも是非、旨いもん食えるし、安いし、また来てくれ! 君たちが居ていい場所だから…”と幹事がアピール。

石塚賢君と郷健君(117回)が一本締め。無事お開きとなった。元気な新人たちはこの後赤坂へ流れたそうだ。



会長挨拶

猪口 孝 70回



大学教育について考えてみたいと思います。不況のあおりで大学経営が困難に直面しています。新聞などで声が大きいのは国立大学と私立大学です。

(1) 国立大学の予算が中央政府予算一律10%削減をもろに受けそうになっているが日本の大学教育の支柱である国立大学をこんな目にあわせていいのか、というなかば恫喝である。

(2) 私立大学は人口減少のなかで私学助成を大きく削減されそうであるが、大学生の8割を占める私学をこんな目にあわせてよいのか、というこれもなかば恫喝である。

どちらもご尤もである。しかし、

ここで重要なのは公立大学が全く無視されていることである。国立大学と同じ数、80、の公立大学があるというのにである。

しかも大地に根ざし、地域の情熱を一身に受けて、地域振興に励んでいるのにである。グローバル化が進展すると、すべてが世界の標準にあわせられる。新機軸を継続的に出す地域は所得水準を上げることができるが、そうでないとそれと同じような、あまり活発でない地域の所得水準に合わせられる。日本の所得水準は非常に高いのだが、新機軸を出せない地域は不可避免的に所得水準を低下させていくしかなくなった。

これが東京以外のすべての地方の問題である。地域振興とは関係なく中央政府からばらまかれる予算をたよりに生き延びようとしてもそうはいかなくなってきたのである。

われらのとるべく途は何か。それは大地に根ざし、地域振興に懸

ける大学を地域、地域で生み出すことである。地方の国立大学は人さまのお金が自動的に来るのでいまひとつ、地域振興に懸ける情熱が乏しくなりがちである。東京の国立大学や私立大学は地域振興などは考えていない。公立大学の出番なのである。新潟でいえば、新潟県立大学の出番である。新潟の地域振興の軸として新潟県立大学をという視点が強くなることに未来の明かりを示すことになるかと確信しています。

新潟県民の支援が強いことが最大の強さになります。現在では予算規模も極端に小さく（東大が年間予算2000億円、早稲田大学が同900億円ならば、新潟県立大学は12億円）、教育研究に向けた施設サービスにもっとあればという気持ちがあります。にもかかわらず、新潟県立大学は全国的に日本一の応募者倍率を記録し、2009年は10倍、2010年は11倍です。

より強い支持をえて、これからも一層地域振興に励みたいと思います。

2010 新人歓迎会・講演会 PHOTO ALBUM 2010.6.18 fri. ANA Intercontinental - Tokyo



64回生東京同期会

東京同期会事務局 川崎明

この10年余り、毎年開催を続けているわが64回同期会だが、今年はいくつか重大なできごとが重なった。

まず、幹事の相棒である坂井敬くんが、突然、身内のご不幸で参加できなくなったこと。これまで、司会は100%彼任せであったため、弱ったのは私。会のメインイベントは参加者全員による「1分間スピーチ」だが、時間オーバーの話を止めさせたりしても毎回たっぷり2時間以上かかる。この間、私語を禁じたり、緊張感を持続させるのは結構骨が折

れる。しかも司会者は飲んだり食ったりできない。前夜から緊張気味で寝不足になったが、多くの仲間の協力で、何とか務めを果たすことができ、ホッとした。

次に、今年は1月に開催した世話人会で、5月22日(土)の開催を決定したのだがドタキャンが多数発生、結局、44名の参加になった。キャンセルは毎年参加の常連たちだが、理由は、本人や家族の病気、ご不幸であり、これからはこういうケースが、年々増えるのであらうと考えさせられた。

もう一つ、長年会場にしてきた東京厚生年金会館が閉館になったため、有楽町・ニュートーキョー

9階「ラ・ステラ」に変更したが、会費を値下げ、飲み放題・3時間、料理もまずまず、交通の足場が良かったこともあわせて、たいへん好評であった。

2次会は、銀座・交詢ビル近くのスナックを借り切り、飲み放題・2時間2500円。18名が参加。来年も、同じコースで開催しようかと思う。

過去、「同期会ってどんな意義があるの?」とネガティブに聞かれ、幹事として少々イヤな思いをしたこともあったが、年に1回、「やあ、元気だった?」と、コミュニケーションができることは、まことに意義深いと思うこの頃である。



卒業45周年記念同期会

72回幹事 渡辺 毅之

私共、72回卒業生は昨年、卒業45周年を迎えました。

5年毎に開かれている同期会ですが、今回は卒業45周年記念同期会と銘打って、新潟市内のイタリア軒で、9月25日に開催されました。

恩師の星先生、宮地先生、滝沢先生をお迎えし、同期生98人が、秋晴れの新潟に集結。

恩師のありがたいお話の後、同期生の鈴木さんの詩吟「良寛」が披露され、同期生一同、感嘆! 古町芸子さんのお酌で、東京から馳せ参じた齊藤君(元日航機長)の発声で乾杯。

その後、その古町芸子さんの舞が披露されたりし、同期生相互で和やかに歓談。元レスリング部の賀井君、同合唱団の樋浦君の指揮の下、玲瓏の天、ますらお、校歌を参加同期生全員で、声高らかに斉唱し、散会。

同じ会場の最上階で引き続き、2次会の開宴。クラス別にテーブルに集まり、当時の思い出話に花を咲かせ、旧交を暖めました。



今回の5年後の再会を約して、同期生各位、それぞれ、三次会や帰宅の途につきました。

総会幹事奮闘中

2010.9.28 『74回有志代表』工藤義夫 記

今年、猪口新会長から、総会の運営をもっとシンプルに事務量を少なくしよう、さらにはもっと安い所でもっと多くの人に参加してもらおうと。早速、総会では第2部の運営を、各学年の持ち廻りとしようとの提案…できるところは？と幹事会で真っ先に手を挙げたのが74回（の私）だった。他には64回と84回が名乗りでて、成算は？だが先ずはとにかく引き受けるこ

とにしたのである。

それからは、隔月で74回有志5～6名で準備会を開きアイデアをひねる、ひとつは恩師を招待しよう、そうすれば前後の卒業生たちにも声をかけられるし。さらには、在学中のエポック…特に、74回生には国体と地震の強烈な記憶が残る。これらを綾に当時の学生時代を秘蔵写真も発掘しスライドにして語りかけてみよう…と。これらを軸

に多くの参加を募ることにすべく奮闘努力中である。

恩師もみなお年をとられた中で、先ずは数学の宮地正樹先生にすぐに快諾いただき何よりだった。

なお、他の3先生（飯塚、奈良、山岸）からも返事を頂戴したが上京は困難の由、いずれも盛会を祈念しますと近況を寄せてもらった。それぞれ随分お会いしてない先生もいるが、同封し送付した74回生の同窓会＝酔都志会の“ハナヤカナ”写真を見て喜んでいただいたようではある。

74回の準備会もこうして会を重ね、次第に気分がノリ、総会前の最終打合せで何とか仕上げる予定である。なお、1ヶ月前には同期メンバーに大々的に参加キャンペーンもしなければ！

いずれにせよ、地味ではあるがそれでも同窓会にマッチした演出にしよう知恵をひねろうと思う。ある日の準備会の風景1枚を添付する。



展覧会のお知らせ—田中 正弘 73回

田中正弘彫刻展

「生」と「死」の連環を見つめてきた田中正弘の彫刻とレリーフの展覧を、銀座・ギャラリーなつかにて開催。「植物誌」、「雲水—遊行」など。

会期：11月29日（月）～12月4日（土）

会場：ギャラリーなつか

GALLERY NATSUKA

中央区銀座5-8-17

ギンザプラザ58・8F

TEL：03-3571-0130

田中正弘（73回）／主な受賞歴

「18回日本美術展」入選（東京・京都）

「90現代ガラスの造形展」入選（箱根の森美術館）

「土の造形」（栃木県立美術館）

「四季の径・彫刻大賞展」大賞受賞（古河市）

「夕日モニュメント」製作（新潟市・夕日海岸）

「サントリー美術大賞展91」入選

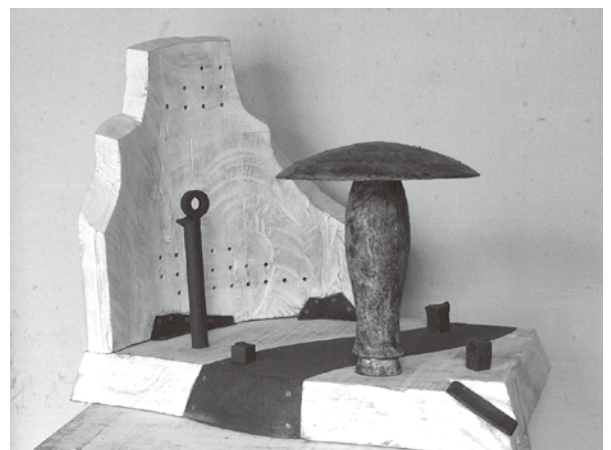
「風の芸術展」入選（枕崎市）

「新潟市野外彫刻大賞展」

マケット100展」入選

新潟の作家100人（新潟県立万代島美術館）

その他、受賞、個展多数。



雲水—遊行 40×60cm ブロンズ・鉄・木

ギャラリーなつかwebサイト

<http://homepage2.nifty.com/gallery-natsuka/index.html>

田中正弘webサイト

<http://members.jcom.home.ne.jp/masa.tanaka/index.htm>

第12回 東京青山玲瓏会報告

64回 遠藤治一

5月20日(木)平塚富士見カントリークラブで開催されました。

五月晴れには程遠い、少々、小雨模様の曇天の下、後半からの回復に期待して、競技を開始しました。

参加者は、色々な事情で、最長老の60期小林満さんを筆頭に、総勢10名。

県高と言えば、新潟県に、県立が一枚しか無いような代名詞になっている、創立後120年に垂んとする我が母校、青山同窓会ゴルフ会にしては、些か淋しい人数でした。

この会の創設時から、元気で一番、一大勢力を誇った61期の方々、ついで、現役、退役の境で、まだ活力溢れる68期の方が、大挙して欠場、常連メンバーの方々に、体調不善など、意気の上がない会になりました。反面、少数のメリットである懇親の密度は、大いに上がりました。

優勝は、なんと、68期のリーダー

一、村山隆男さんがダブルベリア方式での三連続優勝を果たしました。スコアは、88。唯一、80台。

今回は参加者少数の為、競技より、懇親に重点を置き、順位賞は、優勝とBBとしました。BBは、60期津久井保さん。永年のゴルフ暦で、生涯初めて、BB賞とのこと。コレも、珍しい話だと思います。



余興賞は、だれでにもチャンスがあるニア・ピン賞は、4(ショート)ホール全てにつけました。

これも、なんと、第一組の64期高橋正幸さんが、全ホール(No.6、8、12、15)にON、旗を残しました。しかし、さすがに、全てを攫うことにはならず、No.6は、61期村山健さん、No.12は、不肖、64期遠藤がとりました。

出版のお知らせ—池田 昌之 62回

「三股流の霧」 さんこりゅうのきり
満洲・安東 戦後物語

物語の舞台は昭和20年敗戦時の旧満洲と朝鮮の国境の町安東である。

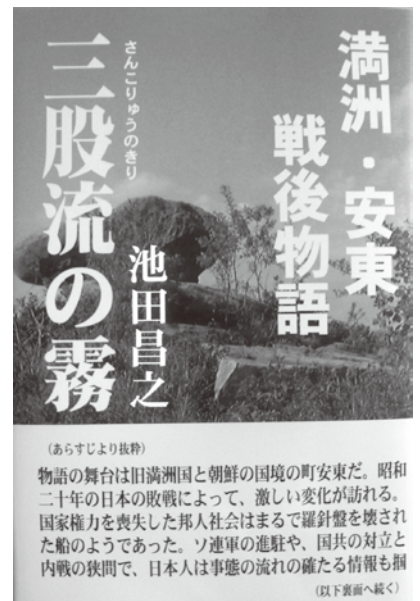
国家権力を失った日本人社会はソ連軍の進駐、国共内戦の狭間で殺戮の悲劇と様々な受難に遭遇した。物語の主人公は戦後安東にいた日本人たちだが、その一人が昭和9年に新潟県から満蒙開拓団に参加し数奇な運命で安東に辿り着く水野トキだ。

主軸となる話は霧の朝に安東郊外の三股流で起きた国共間の武力

衝突である。日本人が両陣営に参加し相戦い、トキの愛人がそこで戦死する。それは正に戦後の邦人社会を象徴する事件だった。



文藝書房刊 H21年11月初版 定価1,575円(本体1,500円+税)
池田昌之 web サイト <http://www.ikedam.com/>



平成22年度 総会のご案内

日時

平成 22 年 11 月 12 日 (金)
受付開始：午後 6 時
開会：午後 6 時 30 分

会費

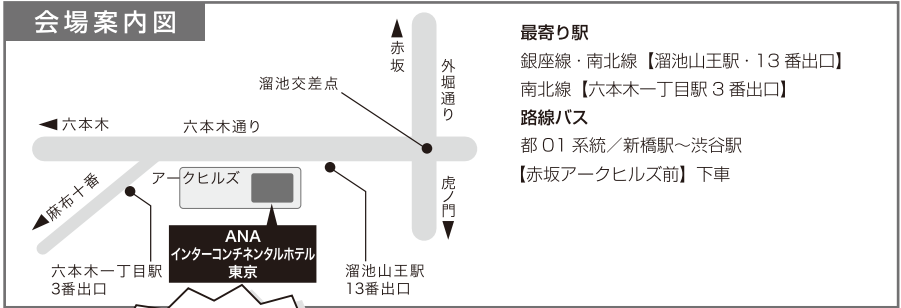
一般：8,000円
女性：6,000円
大学生：3,000円

会場

ANAインターコンチネンタルホテル東京
港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111(代)

プログラム

- ◇総会議事◇
- 会務報告・会計報告など
- ◇懇親会◇
- 着席buffet



**74 回担当幹事会
準備着々！
宮地正樹先生
来場決定！**



予告 次年度の新人歓迎会は平成 23 年 6 月 17 日 (金) の予定です。

住所リスト出力サービス

当同窓会では、皆さんからの情報を元に常に会員の住所録をコンピューターにて更新しております。
「同期会をやってみたいけれど、皆の住所がわからない…。アイツは今どうしているんだろう？」
などとお思いの方は事務局までお尋ね下さい。
学年毎のリストを出力してお届けいたします。
ご希望の卒業回数を明記し、代表者の連絡先・送付先を書き添えて事務局宛 FAX. をお送りください。

FAX. 03-3423-1692 (日下部・82回)

■住所リスト 1 学年 / 3000 円■

■ 訃 報 ■ H22年5月～9月の期間に事務局にお知らせいただいた方々です。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 会田 俊雄 (40回・H21.8.7) | 後藤 近昭 (55回・H22.3.24) |
| 堤 清作 (42回・H21.11.27) | 阿部 弘昭 (56回・H22.2.17) |
| 平原 芳郎 (44回・H22.4) | 山本 幸正 (56回・H22.5.18) |
| 本島 哲三 (45回・H20.9.20) | 大島 洋一 (59回・H21.11.24) |
| 本間 五夫 (48回・H22.4.3) | 高野 信之 (60回・H21.12.24) |
| 渡部 松生 (49回・H22.3.25) | 高橋 正樹 (60回・H21) |
| 垣原 誠 (50回・H22.7.26) | 赤堀 和郎 (61回・H22) |
| 河路 渡 (51回・H22.7.22) | 小林 稔 (61回・H20.4) |
| 真保 謙一 (51回・H22.11.30) | 和田 明夫 (64回・H22.9.4) |
| 鈴木 孝志 (51回・H21.11) | 上田 久則 (74回・H22.7.18) |

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

【お詫びと訂正】

前号会報第 47 号 (平成 22 年 5 月発行) の「一筆啓上」の欄におきまして、執筆者のお名前に誤りがございました。訂正版を再掲するとともに心よりお詫びを申し上げます。
81 回・笹川伸一 (誤) → 81 回・笹川典男 (正)
〈再掲〉東京会報第 46 号で、同期 81 回・上村隆君の訃報に接し、絶句いたしました。上村隆君とは、修学旅行の自由行動で、若草山に行ったことがあります。社会人になってから 15 年程経過したころ、上村君から電話がありました。それ以降、年一度は酒食を共にし、大いに語りました。この二年ほど連絡が無かったのですが、まさか訃報に接するとは思いませんでした。御冥福をお祈りいたします。

偶数月第二火曜日の会

平成 22 年度の予定

12/14 (兼忘年会)

平成 23 年度の予定

2/8・4/12・6/14

毎回定時 19 時より

◇日本海庄や(赤坂店) 港区赤坂 3-13-7

Tel:03-3586-5003

場所も時間も固定です。

ふらりとお立ち寄りください。

同窓会の HP

◇青山同窓会◇

http://www.geocities.jp/niigata_aoyama/

◇東京青山同窓会◇

<http://www.tokyo-aoyama.org/>

一筆啓上

～H22年の新人歓迎会・講演会への出欠はがきとメール、21年度後半の会費振込用紙に添えられた主なメッセージです。～

40回・会田俊雄 平成21年8月7日94才にて永眠致しました。生前中は大変お世話になりました。有難うございました。(内)
42回・堤清作 2009年11月27日、93才でなくなりました。永い事、会報お送り頂きありがとうございました。
43回・早船春洋 元気です。
44回・斎藤伸雄 元気で過ごしています。御盛會を祈ります。
45回・本島哲三 本島哲三儀、平成20年9月20日、永眠いたしました。特別な病もなく、主治医の訪問治療を受け、自宅で私と息子一家の見守る中、静かに眠りにつきました。最後に「楽かったよ、じゃあまたね」といって逝きました。親しく下さった方々へのメッセージも込められているかと、本島の感謝の気持ちとして書き添えます。本当にありがとうございました。本島マサミ(妻)※会費未納の分があると存じます。遅れました事、お詫び致します。
46回・富所強哉 出席します。宜しく申し上げます。事務局、本当に有難うございます。
48回・本間五夫 会報をお送りくださりましてありがとうございます。本年4月3日に他界いたしました。生前のご交誼ありがとうございました。(内)
49回・渡部松生 平成22年3月25日、病気のため逝去致しました。

生前は御世話になり有難うございました。(妻)
50回・苅部一郎 会費5年分を一括納入します。
50回・時田勇司 ご盛會を祈ります。
51回・真保謙一 真保謙一(父)が平成22年11月30日に亡くなりました。ご連絡の停止をお願い申し上げます。(91回・真保恵美子)
51回・鈴木孝志 同窓会のお知らせ有難うございます。大変お世話になり有難うございます。昨年11月85才で他界致しました。生前のご交誼に厚く御礼申し上げます。(内)
52回・斎藤泰五郎 御盛會をお祈り致します。
52回・渡辺達郎 知足常樂 能忍自安 行雲流水
55回・後藤近昭 後藤近昭の娘で小林佐都子と申します。先日、父宛に「東京青山同窓会年會費」のお知らせをいただきましたが、実は、今年の三月二十四日に父は他界いたしました。八十歳でした。ご連絡の名簿から父の名前を削除していただくようお願い致します。
56回・阿部弘昭 夫、阿部弘昭はH22.2.17に永眠いたしました。長い間お世話になりました。ご逝去を悼みます。(妻・ムツメ)
56回・飯島昌彌 東京青山五十六回同期会とりまとめの中心的存在であった宗村植三郎が新春早亡くなられ、一同淋しい思いをしています。

一筆啓上

56回・井上菊雄 56期は今年80才奪寿を迎え、6/16に新潟イタリア軒で同窓会がありますが、これも出席できません(福岡は遠い)。年会費は振り込んでありますので宜しく。
 56回・増田祐孝 ご案内ありがとうございます。都合により欠席します。
 56回・松井昭五 昭和23年卒業以来63年を経過しました。早いもので今年で傘寿になります。昭和18年(1943年)4月の入学当時は、母校は品格のある学校でした。今の新潟高校もそうでありましょうか。
 56回・山本幸正 山本幸正儀病を得まして、平成22年5月18日永眠致しました。今まで有難うございました。(妻山本ムツ子)
 58回・片桐欣哉 落選は本当に残念でした。でも強くなってきたことが嬉しです。野球部の頑張りを思い出します。望みを先に置きましょう。ご盛会を祈っております。
 58回・宗村泰四郎 いつもお世話になります。週日、兄娘三死去の節は色々ご配慮をいただきありがとうございました。ご盛会をお祈りいたします。
 59回・坂井裕 何時もお世話になります。59回の沖繩の板井裕です。ご案内ありがとうございます。今回は先約のため残念ですが出席ができません。またの機会には一と想いを込めてお待ちしております。
 59回・牛木素吉郎 サッカー・ワールドカップ取材のため南アフリカに行っています。1970年以來、11回目の取材です。残念ですが欠席します。ご盛会を祈ります。
 59回・大島洋一 夫、大島洋一は2009年11月24日に他界いたしました。いろいろとお世話になりました。ありがとうございます。(内)
 59回・岡田久 喜寿を過ぎましたが何とか健い付いていっています。
 59回・長橋敏雄 78才になりましたが、お陰様で元気に毎日過ごしております。
 59回・花井進 わかりやすく達者に過ごしております。当りもろしく。59回・藤原幸雄 運動のしすぎで、筋力低下と診断され、足裏にシビレがあり、遠出は自重しております。盛会を祈ります。
 60回・池浦厚司 残念ながら欠席いたします。盛会を祈ります。
 60回・石黒忠士 元気になっています。残念ながら都合で欠席できません。ご盛会を祈ります。
 60回・小林吾郎 「会報」を読むこと、「会費」を納めることをしとしながら、「総会」に出席したことがなく、相済みなく思っていますが、老人のわがままとお許し下さい。
 60回・高橋英雄 2010年の高野MIZUO(60回)は1月18日(月)昼に行き37名参加しました。物故者(高野信之、切貝久司、高橋正樹、田辺利光君)が増えました。
 60回・高野信之 夫、信之、平成21年12月24日永眠いたしました。生前御厚誼有難うございました。(妻・美子)
 61回・赤堀和郎 今年22年死いたしました。年会費納入了しました。(内)
 61回・伊藤英子 出席します。やっぱり新人はお役に立てなくても歓迎したいです。また、元パイロット様のご講演、とても魅力的です。同窓会誌に空を飛んでいるとオロロを覗くと、とても面白い方だと思います。
 61回・熊谷隆幸 ご送金が遅くなり申し訳ありません。よろしくお祈りいたします。
 61回・田村文男 相変わらず元気です。
 61回・長沼雄峰 貧乏ヒマなで仕事に追われ、同窓会にもなかなか出席できないです。東京には行くことがあるので、「第2火曜日の会」にはかまかまします。卒後53年が経ち思うことがたくさんあります。
 61回・村中正孝 当り所属している地質調査業協会の行事があり欠席いたします。ご盛会を祈ります。
 61回・長谷部良雄 健康面の不安で欠席させていただきます。御盛会を祈ります。
 61回・村山健 新人歓迎会・講演会に出席致します。柔道部後輩の斎藤さんのお話を是非お聴きしたいと思っております。出欠の回答が非力になり申し訳ありません。
 61回・川芳生 都合が悪くできません。
 62回・帆刈英典 青年期・壮年期の冒險健児の多くが活躍されている近年の姿に心から敬意を表し、喜びと共に応援いたしております。
 62回・太田健治 残念ながら欠席です。新人諸君の将来に期待するとともに、その健康をお祈りします。盛会をお祈りいたします。
 64回・川崎明 64回同窓会は5月22日にニュートキョー本店「ラ・ステラ」で開催。44名出席でした。
 64回・青木幸彦 お知らせありがとうございます。
 64回・佐藤肇 都合により残念ながら欠席します。会の発展と盛会をお祈り申し上げます。
 64回・中山暢彦 ご盛会をお祈り致します。
 64回・星満 何時もお世話頂き、有難うございます。私の予定は、6月初旬中旬にかけて、エジプト方面に旅行に行くことになっております。従って、残念ながら2010年新人歓迎会に出席できずともありません。申し訳ございません。今後とも、よろしくお祈り致します。
 65回・佐藤武行 幹事様ご苦勞様です。残念ですが所用のため欠席です。盛会をお祈りいたします。
 65回・丸山一敏 息まわっていくことに無性に腹が立つこの頃です。
 65回・横山修二 今年も欠席の恥をお許し下さい。頂戴した会報巻末の年会費納入書一覽で、同期の諸氏のお名前を見ていると、何故か仮設校で過ごした3年が懐かし思い出されます。若い昔日のことになってしまいました。
 66回・木下功 いつもご苦勞様です。東京青山同窓会は残念ながら欠席いたします。ご盛会をお祈りしますと同様祈ります。会の発展を祈念いたします。
 67回・小野勝義 残念ながら所用で案内の会は欠席させていただきます。ほどで忙しかつております。
 67回・北村紘一 3つの趣味とマンション階下の孫(小1)の遊び相手なので忙しかつております。
 67回・佐々木邦夫 お陰様で元気です。残念ですが欠席します。皆様には色々よくお伝え下さい。
 67回・三浦浩 週3日の勤務となり自由が増えました。盛会を祈ります。
 68回・滝沢猛 東京青山168回生、恒例のウォーキングの会で、先日小江戸川越を散策してきました。25名の参加でした。
 68回・増子藤男 足が不自由な為、出席できません。
 68回・村山弘 所属する合唱団の定期演奏会のため心身ともに忙しい毎日です。
 69回・高木敏之 現役復帰、週5日元気にやっております。
 70回・猪口孝 2010年は第2年目の新潟県立大会です。昨年志願者倍率10倍、今年は11倍です。県外出身者が昨年の20%から今年の35%へと伸びています。
 70回・武石正伸 毎回ご案内ありがとうございます。6/18は所用で大阪におります。
 70回・花輪治 いつもご案内を頂戴ありがとうございます。6月18日、19日は京都へ所用で出かける予定です。
 70回・福井紘一 平成17年度に血液ガン(多発性骨髄腫)に罹り昨年暮れに寛解、生還しました。現在、自宅療養中です。
 70回・若井正嗣 大変残念ですが欠席させていただきます。
 71回・柄沢幸 卒業した大学の部本に若い時の姿が残り、元気を思い出していると思っております。
 71回・竹内誠 誠に勝手ながら、本年度をもって脱会させていただきます。

ますので、よろしくお祈り申し上げます。
 71回・堀清志 御無沙汰してしております。72回生の斎藤俊正さんは東京青山柔道部OB会でお会いしております。斎藤さんの話をお聞きしたいのですが、当日は「ソリア・ヨルダン旅行」ですので残念ながら参加出来ません。会員の皆様方のご健勝を御祈念申し上げます。
 72回・池田弘弘 月に一度新潟へ戻り、同級生と飲むのを楽しみにしております。
 72回・小嶋修一 会社の業務他、環境カウンセラーとして環境保全に努めています。それなりに現役を頑張っております。
 72回・小林正昭 講師が同期の斎藤さんとのも事一足非と思いましたが、当日、旅行とぶつかり残念ながら参加できません。ご盛会をお祈りいたします。
 72回・近藤正 センバツは残念でした。夏は頑張って甲子園!
 72回・齊藤俊正 新人歓迎会当日はよろしくお祈りいたします。皆様との興味の湧く話ができるのが良いのですが、
 72回・菅又滋 いつもご苦勞様です。出席でお待ちしております。
 72回・高橋忠 お世話になります。出席いたします。宜しくお祈り致します。
 72回・富田由幸 ご案内有難うございます。返信が遅くなり失礼申し上げます。当日、受付、必ずお手伝いいたします。
 72回・古山恒夫 斎藤君(茶道道場同期)の講演は是非とも拝聴したかったです。当日夕方から教授会・教室会議があるため残念ながら欠席させていただきます。皆様よろしくお伝え下さい。
 72回・山田利史 ご連絡が遅くなりましたが、表記の会に出席を予定いたします。お祈り願います。よろしくお祈りいたします。
 73回・田中正弘 今年11/29〜12/4、東京・銀座・ギャラリーなつかで彫刻展開催。
 74回・和泉清 扱けられない会議があり、東京出張不可ですので申し訳ありませんが欠席となります。皆様よろしくお伝え下さい。
 74回・岩城修平 ご案内ありがとうございます。まだ現地で全国を飛びまわっています。当日は出張のため残念ながら欠席させていただきます。次回を楽みにしております。
 74回・大築均 案内受領。先日幹事会では欠席済みです。こんどは頑張ります。
 74回・加門文隆 当日インドへ出張中です。世界遺産プロジェクトエローラ仏教遺跡のモニターセンター維持管理計画策定業務です。是非アジアンタ・エローラの遺跡群を見に来てください。
 74回・高橋清司 新人歓迎会・講演会のご案内を戴きましたが、あいにくその日は都合が悪く、欠席させていただきます。また、私はこの四月からまた市庁の方向へ転居しておりますので、住所、連絡先変更をお願い致します。
 74回・高橋信郎 第2の会社人生いつまでか?と思う今日この頃です。
 74回・土屋彩香 連絡が滞りなく、すみませんでした。新人歓迎会に出席致します。5〜6月は学会協会の総会続きですが、6/18日は先程調整しました。
 74回・西田百合子 本日に残念ですが、欠席します。11月12日(金)の総会には出席の予定です。今度は74回生を企画するそうですね。何かお手伝いが出来ればと思います。会のご成功をお祈りしております。
 74回・山崎久孝 3/30、横浜から南魚沼市に転居、4月からBangkokに移住。
 75回・白鳥十三 18日の青山同窓会、出席と言うことで宜しくお祈りいたします。
 75回・三富修 定年退職して1年半。日々、元気に過ごしています。
 76回・佐藤賢 昨年、東京に転居してきました。元気に過ごしています。
 76回・林眞義 ご案内ありがとうございます。残念ですが、18日は欠席いたしました。
 76回・山際若雄 新潟に戻りました。新潟の山や、北アルプスが近くあり、せつせと通っています。
 77回・時岡高志 ご案内ありがとうございます。今回は残念ながら仕事のため都合があり参加できません。盛大な新人歓迎会になりますこと祈念いたしております。
 78回・前田長生 今後、総会には出席しようと思ひます。
 79回・川上康夫 79期の川上康夫と申します。青山同窓会に入っておりますが、東京に勤務している関係がなかなか皆様との接点を見つけれないのが現状です。生活基盤もすでに新潟を離れておりますので、東京青山同窓会へ入会いたしたくよくよく御願いいたします。
 79回・杉山順爾 ご連絡遅れてすみません。4月1日から新潟勤務となりました。参加したいらうの転勤でした。今後よろしくお祈りいたします。
 79回・滝沢清一郎 ご苦勞様です。都合悪く欠席いたします。
 80回・長正子 出席いたします。受付のお手伝いいたします。また、消費生活のチラシを配布したいと思ひますので持参いたします。よろしくお祈りいたします。
 80回・関本道章 東京青山同窓会新人歓迎会に出席します。初参加です。宜しくお祈りいたします。
 80回・滝沢正規 返信が遅れて、申し訳ありません。6月18日はどうしても都合がつかず22日の欠席です。
 82回・中林昭裕 2月に名古屋へ転勤しました。今回で脱会とさせていただきます。(会費は今月払います)
 82回・山下浩子 申し訳ありません、仕事の都合がつかず今回も欠席します。書店内で急病者が出、長期療養になりました。今は健康ですが、日々無理ができない年齢を感じます。いつか出席したいです!!
 84回・野口俊夫 6月18日の東京青山同窓会に出席いたしますので、よろしくお祈りいたします。
 85回・雨木若塵 いつもご案内有難うございます。6月18日は残念ながら、卒論中間発表のため何回かができません。ご盛会をお祈り致します。定例会もいつかは参加したいと思ひているのですが・・・
 85回・柳下和彦 残念ですが欠席させていただきます。年会費、忘れずに振り込みます。
 86回・吉井正行 お世話になります。今回は欠席します。秋の総会には出席しようと思ひます。
 88回・小竹聡 ご連絡ありがとうございます。ご無沙汰ばかりで申し訳ございません。今回は万難を排して、出席させていただきます。どうぞよろしくお祈りいたします。
 90回・沢村雅明 ご案内ありがとうございます。さて、新人歓迎会・講演会の欠席ですが、毎度ですが、欠席させていただきます。
 90回・若林伸一 当日は仕事のため欠席です申し訳ありません。
 90回・岩井一朗 昨年の11月13日の総会は、新たな出会いがありとても有意義でした。今回は是非参加したいのですが、どうしても都合がつかず。11月の総会には出席できるよう努力します。
 90回・斎藤結花 3月か名古屋に引っ越しました。東京へは月2、3回出張しますので、よろしくお祈りいたします。
 92回・宮久 案内、ありがとうございます。欠席で申し訳ありません。
 96回・佐久間隆彦 残念ながら欠席させていただきます。またのお誘いをお待ちいたします。住所の変更をお願い致します。
 96回・滝沢有希子 ご無沙汰してございます。ご連絡ありがとうございます。いつもありがとうございます。歓迎会の日は、心理学の勉強があるため、残念ながら参加できませんが、また皆さんと飲む機会があれば嬉しです。どうぞよろしくお祈りいたします。
 98回・村尾亮亮 お世話になります。98回の村尾亮です。参加させていただきます。宜しくお祈り申し上げます。

102回・池田哲郎 先日、武漢・鄭州・成都・西安と中国内陸部を訪問し、成長ぶりに驚かされました。
 102回・三輪貴彦 仕事の都合で時間が取れず申し訳ありません。
 106回・斎藤祥子 新人歓迎会に出席を希望します。直前の連絡ですが、大変申し訳ありません。受付のお手伝いもしたいと思っておりますが、仕事で早く帰ることが難しく状況です。
 112回・松本香織 欠席申し訳ありませんが、宜しくお祈りいたします。
 112回・金澤信太郎 新人歓迎会に出席させていただきます。就職に伴い、連絡が遅れてしまし、大変申し訳ありません。また、就職に伴い、私の住所が変わりましたので、変更をお願い致します。
 113回・関佑樹 ご連絡ありがとうございます。出席でよろしくお祈りいたします。
 113回・高野祐一 東京理科大学大学院修士2年の高野祐一です。御連絡ありがとうございます。出席致しますので宜しくお祈り致します。
 113回・柗木康行 新人歓迎会・講演会のご案内をいただきまして、ありがとうございます。遅くなりまして、大変申し訳ございませんのでよろしくお祈り致します。
 113回・丸山直哉 もちろん「出席」をお願いします!今回先輩方に加え、新人を迎えて懇親する場に貢献できることを大変うれしく思います。
 114回・笠原あかり 新報に加入しました。
 114回・関根拓 新潟へ住所変更しましたのでご報告させていただきます。ご返信遅くなりお祈り致します。
 114回・西田善郎 新人歓迎会・講演会のご案内ありがとうございます。ご連絡が遅くなってしまったのですが、今年の3月に早稲田大学を卒業して、関東を離れました。現在は、弘前大学医学部の3年次に編入入学し、東北の地へつたび学生をしております。退会となりますが、医学部卒業後、関東で仕事をすることをいたしました。また連絡させていただきます。
 114回・間島聡美 就職で兵庫に住むことになりました。また東京に勤務しましたら、参加致します。
 115回・恩田南 返信が遅くなりまして申し訳ありません。今月の青山同窓会参加させていただきます。現在新潟高校で教育実習中です。同窓会では現在の高校の様子などお伝えできればと思っております。
 115回・北見直子 平成22年青山同窓会に出席させていただきます。ご連絡が遅くなりました。よろしくお祈りいたします。
 115回・高橋龍太 教育実習のため、欠席させていただきます。
 115回・敦井みどり 返信が遅れてしまし大変申し訳ありません。就職活動のためなかなか予定がわからず返信が遅れてしまいました。なお、私ごとですが就職も無事に決めることができました。18日を楽しみにしております。
 115回・福澤ゆかり 就職先が内定しましたので報告いたします。昨年の秋、先輩や社員の方々からアドバイスをいただいたおかげで、第一志望である新潟日報社に入社いたしました!就職難と言われる昨今、今年の日報社も大変快く門ではありました。それと私のような者が内定を勝ち取れたのは、諸先輩のご協力やアドバイがあったからだと、深く感謝しております。本当にありがとうございます。これからは私も後輩のために、新潟のために親身になれるような人を目指して、日々精進していきたいと思ひます。
 115回・横山綾乃 こんにちは。同窓会幹事お疲れ様です。次回同窓会に参加させていただきます。ご挨拶いたします。
 116回・安立沙耶佳 ご案内ありがとうございます。出席の回答させていただきます。友人の分も一緒にお願いいたします。どうぞよろしくお祈りいたします。
 116回・馬場直也 残念ながら都合で出席できません。サークル、就活などありますが、残りの学生生活を有意義に過ごしたいと思ひます。
 116回・山岡友香理 今年13日の総会には欠席させていただきます。
 117回・石本隆也 所用により欠席させていただきます。申し訳ありません。またたび転居いたしました住所を変更いたしましたのでよろしくお祈りいたします。
 117回・大瀧進吾 大学2年次から青森県のカンパに変わりましたので、関係が青森へ転居いたしました。
 117回・大竹里実 喜んで出席させていただきます。よろしくお祈りいたします。
 117回・小川さき 予定が合わず、残念ですが今回は出席出来ません。
 117回・鏡智恵 今回は残念ですが、欠席させていただきます。住所が変わりましたので、ご報告させていただきます。
 117回・小出敏子 残念ながら欠席させていただきます。また、住所が変わりましたのでよろしくお祈りいたします。
 117回・白井綾乃 ご案内いただきありがとうございます。申し訳ありませんが、私用がございまして欠席させていただきます。本年度もよろしくお祈りいたします。
 117回・畑山雅俊 昨年はお世話になりました。117回生の畑山雅俊です。今回の東京青山同窓会ですが、都合により欠席させていただきます。よろしくお祈りいたします。
 117回・福原周 申し訳ありませんが、私用があるため欠席させていただきます。
 118回・会田俊貴 ご案内ありがとうございます。残念ながら今年も浪人中ですの出席できません。来年は参加したいと思っております。
 118回・有田優理香 返信が遅れ申し訳ございません。出席いたします。よろしくお祈りいたします。
 118回・市川峻平 参加します。よろしくお祈りいたします。
 118回・遠藤結花 6/18の新人歓迎会・講演会、ぜひ参加したいです。よろしくお祈りいたします。
 118回・大園環 私用のため欠席させていただきます。申し訳ありませんが、よろしくお祈り致します。ご盛会をお祈りいたします!
 118回・笠原和 この春に新潟高校を卒業した笠原和(かざらのどか)です。東京青山同窓会に参加したいので、よろしくお祈りいたします。
 118回・岸野直 返信が遅くなり申し訳ありません。新人歓迎会ですが、大学の講義が直前まであるため欠席させていただきます。またの機会に出席できればと思ひます。
 118回・久保田葉摘 授業の関係で欠席いたしました。返信遅くなって申し訳ありませんでした。
 118回・佐藤末夫 出席します。遅れて申し訳ありません。
 118回・佐藤結衣 出席のため欠席させていただきます。申し訳ありません。
 118回・柴山宗一郎 返信遅れてすみません。同窓会参加しますのでお祈りいたします。
 118回・曾我浩一朗 平成22年度新人歓迎会・講演会に出席します。よろしくお祈りいたします。
 118回・田崎智之 新人歓迎会に出席します。よろしくお祈りいたします。
 118回・時田大地 同窓会の件ですが、週末早朝から合宿の予定があり、その準備があるので今回は欠席させていただきます。次の11月12日の総会には参加できるよう予定を調整しようと思ひます。
 118回・福王寺彩 18日に行われる新人歓迎会に参加します。よろしくお祈りいたします。
 118回・青山山紗織 大学の授業がありますので、申し訳ありませんが、今回は欠席させていただきます。
 118回・堀沙織 6月18日の青山同窓会出席します。
 118回・八藤後瑞生 6月の会は私用の為残念ながら欠席させていただきます。よろしくお祈りいたします。

平成21年度 (H21.10.1~H22.9.30) 年会費納入者一覧

通6回 (1名)	田村量一	小池健治	佐藤武司	渋谷皓	池田好正	青海潔	加澤正樹	越野昌芳	小林美奈子
関川久子	照木仁	小出直	鈴木勉	鈴木衛士	猪口孝	池一	加野裕資	笹川典男	高橋美和
42回 (1名)	永井喜八郎	小林賢一	曾我健	半澤貢	魚谷茜	石井拓男	賀谷彰夫	諏訪正樹	田辺文
東城真佐男	中島直彦	小林吾郎	高橋健一	本間武彦	岡田利邦	和泉潤	北島彰	高野俊一	樟美沙子
43回 (3名)	中村晃	小林満	藤原亨子	丸山一敏	笠原尚	伊藤宏	久住治	玉木勝一	中村泰
徳重茂	中山昭一	近藤純夫	帆苺宏典	村木利夫	川田昌人	岩城修平	後藤徳広	成海孝二	森豊
早船春洋	藤田和夫	坂口英一	嶺國和	山本和親	札木俊明	上田久則	小松澄子	目黒洋	91回 (3名)
山本山城	堀藤四郎	佐藤孝	村木隆	湯浅武久	澤部昌泰	江口則男	小宮山信男	渡辺優	磯部剛
44回 (1名)	増田祐孝	清水悌作	本井孝至	横山修二	菅原一雄	大石憲一	指田久美子	鰐淵博	岡田留美子
斎藤伸雄	松井昭五	杉野剛博	山本真弓	渡辺千里	鈴木正俊	大滝均	佐藤寛	82回 (7名)	真保恵美子
45回 (1名)	三崎正一	高城英雄	渡辺千里	石山芳春	関根俊明	岡村康生	曾田修吉	清田甚	92回 (1名)
本島哲三	宮田和明	田部幸夫	63回 (14名)	内田定寛	田辺豊	加門文隆	中田邦章	日下部朋子	白坂和久
46回 (2名)	宗村禎三	徳田浩一	浅野康一	風間聰一	土田進	岸田章一	工藤義夫	小亦斉	93回 (4名)
下勇	山城敦成	中田亨	五十嵐健治	川原英夫	中村重樹	藤川芳樹	太原まゆみ	斎藤滋	猪股俊也
富所強哉	山田幸輝	野村保夫	五十嵐信一郎	合田春美	野川晃一	解良和郎	田村俊作	中林昭裕	岩原朋子
47回 (2名)	山田陸男	長谷川秀三	五十嵐房子	柴野恵子	花輪治	近藤博	長北学	西山活子	工藤吉尚
小杉吉二郎	山本幸正	早武正博	石渡利男	中野武菅	馬場誠	坂井靖	中谷文夫	宮村伸一	星野和明
杉山弘治	57回 (1名)	廣瀬欽次郎	市川瑞夫	二宮靖彦	福井紘一	福島治	中野雅之	83回 (8名)	渡辺雅夫
48回 (2名)	平野敦雄	藤本剛	市村義雄	丹羽真彦	山宮士郎	佐藤俊栄	佐藤信秋	林誠	橋田篤英
石本三郎	58回 (15名)	堀部重明	會正之	野水宏樹	吉川正孝	佐藤浩	佐藤浩	広川純夫	96回 (1名)
本間公也	飯塚利雄	松尾克己	柏正平	半澤弥栄子	若井正嗣	若井正嗣	若井正嗣	古川恒一	佐久間岳彦
49回 (7名)	植村未哉	丸山敏規	梶原哲郎	三井昌子	渡辺允雄	渡辺允雄	高橋保	細谷洋一	117回 (1名)
赤松元敏	笠原忠克	宮田庄之助	白倉至	室由紀子	渡邊漢介	渡部美那実	高橋信郎	山際岩雄	藤井洋
梶山勝清	片桐欣哉	山崎良一	馬場政説	朝妻紘一	71回 (13名)	遠藤正男	竹之内明	湯木雅恵	98回 (3名)
中村廣徳	坂井春夫	61回 (43名)	村山弘義	石井幹男	柳肇	岡崎功	土屋彰義	渡辺弘	鈴木広樹
仁保武人	大門啓治	赤堀和郎	山田恵一	一柳肇	岡崎功	小野勝義	渡辺雅夫	84回 (8名)	村尾治亮
濱博世	田中浩次	朝日明	植村頼吉	牛木容三郎	太田裕	柄沢卓	西田百合子	77回 (11名)	99回 (1名)
廣川弘	永井克孝	浅見昭夫	安部亜生	江部陽一	柄沢卓	小飯塚豊	西脇雄一	石川彰	君和田俊裕
舟崎裕二郎	廣橋忠雄	安宅久憲	阿部亜生	遠藤治一	片山忠一	小飯塚豊	75回 (38名)	一色由美子	102回 (1名)
50回 (6名)	細貝実	阿部亜生	安藤英憲	伊藤英子	北村紘一	斎藤誠	五十嵐正	片山等	池田哲郎
岩澤信夫	松井慎平	伊藤英子	稲垣甫玄	大石正晃	斎藤久美子	高橋則子	石塚文雄	北村一雄	103回 (1名)
上村光司	宗村泰四郎	村山保	大橋恒夫	大倉孝男	佐々木邦夫	高橋紘生	大塚恵子	佐藤茂	鷲尾英一郎
菊部一郎	望月和明	望月和明	金子章	柄沢茂	清水雄伍	竹内誠	大野敏雄	杉崎真実子	104回 (1名)
寺田秀夫	山谷皓栄	川崎明	59回 (33名)	木田満洲男	木村政雄	熊谷隆幸	小川孝司	小林元雄	星野紹英
時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	熊谷隆幸	小川孝司	小林元雄	小山達人	正木清貴
濱博世	廣川弘	細貝実	松井慎平	宗村泰四郎	村山保	望月和明	山谷皓栄	川崎明	85回 (16名)
廣川弘	舟崎裕二郎	51回 (5名)	上野仁	梶井功	北村茂	千葉繁太	村上安仁	52回 (6名)	荒井裕子
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	今井豊重
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	奥村基
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	110回 (1名)
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	112回 (1名)
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	113回 (2名)
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	114回 (1名)
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	115回 (4名)
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	伊藤美紀
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	恩田南
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	敦井みどり
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	横山綾乃
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	116回 (5名)
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	86回 (7名)
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	斎藤健
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	佐野晴美
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	関晴子
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	乘兼浩明
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	林光洋
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	117回 (9名)
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	伊藤ひとみ
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	大竹里実
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	片桐進太郎
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	郷健
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	小林史佳
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	福島知
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	福原周
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	宗村泰孝
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	矢貫諒
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	118回 (3名)
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	小川翔
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	恩田詩織
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	田崎智之
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	87回 (3名)
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	石川裕之
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	清水忠明
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	渡辺政城
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	88回 (3名)
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	今井信一郎
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	小竹聡
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	諸橋博樹
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	89回 (4名)
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	伊賀上まみ子
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	岩野高子
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	倉田裕一
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	西巻政信
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	90回 (9名)
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	歌代真人
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	勝山達志
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	小林到
岩澤信夫	上村光司	菊部一郎	寺田秀夫	時田勇司	村山一	阿部進	石山芳昌	板井裕	以上695名